

ドナウ通信

在ブダペスト

日本人会会報

日本人会の皆様へ

ハンガリー・日本経済クラブ

会長 レケツチェ・ガーボル

在ハンガリー日本人会の皆様方に御挨拶申し上げます。機会を与えられましたことは、私にとって、大変名誉なることでもあります。

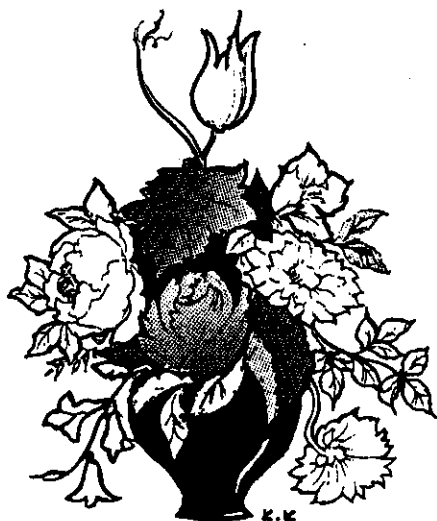
私も五年間にわたって日本に在住しておりましたので、日本とは掛け離れた外地での皆様方の生活が如何様なるものか本当に良く理解できません。私と致しましては、皆様方が少なくとも私が日本に於いて家族共々持つことができたと同様の素晴らしい時を、ここハンガリーにて過ごされんことを祈っております。

両国の状況は無論異なっています。日本は社会や経済の価値が明解で誰にでも判断ができるといった様に変えられ、確立された豊かな国です。相反して、ハンガリーは今、全てが変革の時期にあります。40年にわたる「社会主義実験」の後、国民は体制・制度を交換し、先進世界の方向へ進むことを決定したのであります。

その作業は途方もない程に大きいのです。私達は短期間の内に殆ど全てのものを変革しなければなりません。政治体制・経済そして社会意識です。そしてこの社会意識の変革が最も困難な作業となるでしょう。御承知の如く、意識

構造というのは、どちらかというところ融通性がありません。人々は過去の習慣や伝統にこだわる傾向にありますし、継続的変革の混乱の中では、生活をより安易にする確実で安定した点はごく僅かしか存在しないのです。

しかし、この苦しみにも拘らず、その作業は大変に興味をそそるものであり、新しくよりよい社会が明確化されつつあります。そして皆様方はその一部なのです。ハンガリー人は日本人に対して親しみの情を持っております。実際には私達は日本人の人々の成功に敬服しておりますし、日本は私達の今後の発展の為の実際的な参考例として考えています。私達は経済面・社会面等、皆様方から多くの事を学びたいと欲しています。私達は皆様方が持つておられる労働・共同社会・国家・政治への尊敬の念の価値感を再構築したいと願い、経済面ではその効率性を学びたいのです。



学習の最良法は実践です。だからこそ、生活・経済・文化・科学・あらゆる分野にて日本と強い交流を持つというのが、私達の意とするところなのです。

私はハンガリー・日本経済クラブの会長として両国間の経済協力が進展していることを述べる事ができます。貿易高は増大し、ハンガリー内での新しい合弁企業や日本の投資が交渉されています。双方にとって今、必要なことは忍耐です。もし私達が日本の古い金言「商売は商い」を守ることができないならば、私は私達の相互協力を於いて明るい未来を確信致します。私は皆様方の健康をお祈り申し上げると共に皆様方が当地での滞在を満喫されんことを心から望んでおります。どうかハンガリーの美しさやハンガリー国民の友情を見出だす機会を作して下さい。

(訳：江原)

御挨拶

1992年4月

ブダペスト商工会幹事

宮地 弘

この四月から九月迄の半年間、ブダペスト日本商工会の幹事を務めさせて頂く事になりましたのでドナウ通信紙上をお借りして御挨拶申し上げます。

当商工会の会員数が過去三年間で、11社から今や名誉会員の大使館含め28社に成長した事は皆様も御存知の事と思えます。又日本人会の会員数が過去二年間で二倍以上に増えた事も考え合わせますと、日本・ハンガリー両国間の経済・文化両面での交流が日に日に広がり、深まって来ている事が容易に想像できますし、その様な状況の中で現在ハンガリーに在留されている皆様日々色々な分野で御活躍されている事と推察する次第です。

この五月には日本・ハンガリー経済合同会議がブダペストにて開催され

両国の関係が一層、発展拡大する様、方向付けられる事と思えますし、種々具体的相互協力の話しもなされるものと思えます。又、過日ブダペスト商工会議所の方と面談する機会がありましたが、その際、当商工会との交流を通じて日本・ハンガリーの相互理解を深めて行きたいとの御希望が先方から出される等、今後、当商工会の役割は従来にも増して重要になって来ると感じた次第です。

この様な重要な時期に今回幹事を務める事になりましたが、微力ながらお世話させて頂きますので宜しくお願い申し上げます。



大使館からのお知らせ

◎イランとの短期滞在者査証相互免除措置の一時停止

日本とイラン両国は、1974年より滞在期間が三カ月を越えない等の条件の下に相互に査証(VISA)を免除してきましたが、日・イラン両国政府が協議を行った結果、本年四月以降イランに渡航する場合には査証を取得することが必要となりますので御留意下さい。



人物往来(敬称略)



大使館関係

△離任▽遠藤 正樹

2月

(在ドイツ日本国大使館へ)

工藤 フミ子 3月
下村 正之 3月

(在韓国日本国大使館へ)

△着任▽ 野原 恵司 1月

泉川 美由紀 2月

有光 康 4月

商工会関係

△離任▽

丸紅ハンガリー 高橋 恵 3月

協和発酵 磐井 征行 4月

住友商事 工藤 謹爾郎 5月

△着任▽

日産ハンガリー 島本 修 12月

協和発酵 山崎 暢久 3月

キャノン 下川 義隆 4月

キャノン 榎原 秀樹 4月

マジヤール・スズキ 篠原 昭 4月

丸紅ハンガリー 佐々木 直志 5月

住友商事 安藤 真玄 5月

ハンガリー民俗あれこれ③
ヨロロッパ・ハンガリーと謝肉祭
平賀 英一郎

ハンガリー人はもともとアジアからはるばるこの地まで移動してやって来た民族で、日本人とは遠い兄弟の関係があるかもしれない、云々、というのは、まず時候の挨拶ぐらいいに聞いておけばよい。日本民族というのが、北方からも南方からも、半島やら大陸やら島づたいに、さまざまな民族が日本半島へやって来て、それらが溶け合ってこの列島の上で成立したのと同じ様にハンガリー人というものも、カルパチア盆地で形成されたのだと考えるのが正しい。スラヴ人やアヴァール人や、その他もろもろが住んでいたカルパチア盆地に、東から山を越えて古マジヤール人やって来て国を建てたわけで、古マジヤール人と先住諸民族が混じりあい、キリスト教ヨーロッパ文明を受け入れてそれに従い、そうして今のハン

ガリー人ができたのである。古マジャールというのはハンガリー文化のさまざまな源流のうちのひとつにすぎないし、圧倒的多数のヨーロッパの要素に対し、アジアの要素など、努力してやっと思出させるものでしかない。と

いってあることは確かにあるので、民間習俗、年中行事がまったくヨーロッパ的であるのに対し、俗信ではアジア的な周りのヨーロッパ民族とはかなり異なる性格が見られる。シャーマニズムの痕跡（全くの痕跡にすぎないけれど）も見出させる。民謡がアジア的な五音階というのも知られた事実だ。しかしこの程度の事実をもとに、必要以上にアジアを強調する人があったらあまりにもロマンチストか、でなければよくない魂胆があるに違いない。

謝肉祭について書こうと思って、こんなことを書きつらねてしまった。というのも、ハンガリーの謝肉祭をして「ドイツ民俗あれこれ」に発表できるなど今更のように気がついたからだ。

カーニバルというと、仮面をつけ、仮装した連中が通りを練り歩く図をまづ思い浮かべる。そういうものとしてはハンガリーでは、南部モハーチのプジョー行列が有名だ。最もこれは、ハンガリー人ではなく、あの地に住む南スラヴ人の催しなのだけれども。

謝肉祭は豊饒の祭りである。カーニバル最終日の火曜日の翌日から、復活祭前の40日間の物忌み（四旬節）がはじまる。この間は肉や脂を断ち、楽しみ事や踊りは慎んだ。それがはじまる直前に、たっぷり肉を食べて大いに騒ごうというわけだ。農閑期でもあるし、結婚式もだから謝肉祭の時期によく執り行なわれた。その年に一組も婚礼がなかった場合、西部ヴァシユ県の村では、森から丸太を切り出して村中ひきまわし、まがい結婚式を演じるという行事がある。年頃なのに結婚しなかった娘達にその木をひかせることも昔はあった。この辺に限らず、売れ残った娘は謝肉祭にからかいの言葉をか

けられた。結婚するのはよいことで、子を産むのはよいことで、増えるのは常によいことなのだ。女たちがからかわれてばかりいると思ったら大間違いだ。女が仮装して、道行く男をつかまえ、シャボンがわりにメリケン粉をまぶして、ヒゲをそるまねをし、礼金をふんだくってそれで女だけの舞踏会をする習わしが北ハンガリーにある。

まがい結婚式にはまがい葬式が対をなす。セーケイ地方では謝肉祭最後の日に、カーニバルを表すわら人形を村中ひきまわし、哀れ逝ける謝肉祭は滑稽な弔辞や号泣のもとに火葬に付される。肉よさらば、楽しみもしばらくおあずけだ。雪はとけ、もはや冬ではなく、まだ春ではない泥んこ道の季節に人々は春を迎える用意をする。長い物忌みの後、キリストは復活し給い、彼と共に春もまたよみがえる。

補習校便り

春の陽射しを一杯に浴びて、今年も新一年生が入学してきました。例年になく女の子の多い入学式です。

この日は新年度の始業式も執り行なわれたのですが、楽しく可愛らしい出来ごとが一つありました。新しい担当の先生を発表したときのことです。森本教諭がそれぞれの学年ごとに紹介をするのですが、まだまだ進級したという自覚がなかったのでしょうか、二年生の子供達は自分達の担任の先生が一体誰なのか一度聞いただけでは分かりませんでした。担当の発表が終わった時あまりにもキョトンとしているので、「はい、二年生、先生が誰だかわかったかな？」とたずねたところ、「あれ？二年生って、僕たちだったっけ？」「そうだ、ぼくたちが二年生なんだっただ」先生は誰って言ったんだろ？」「あれ？あれ？わかんないや」となんともいえない表情を見せていまし

た。そこで改めて、担任の先生を紹介しなおしたというわけでした。

こんな感じだった二年生ですが、そこはやはり一年間補習校に通ってきていただけあって、近頃ではもうすっかりお兄さんお姉さんの顔をして一年生の面倒をしっかり見てくれています。毎年思うことではありますが、子供達の心の成長ほど、目に見えて遅く素早いものではありません。日々と言わず、一瞬一瞬変わっていきます。そんな子供と共に時を過ごせる幸せを良く感じます。

春になって、自然界にも命の芽吹き
の勢いが激しいこの頃、補習校の子供
達も元氣一杯伸び伸びと、遊び、学ん
でいます。
(金子 純)

生徒作品より

もしぼくがたんぼぼだったなら

三年 田中 聡

月ようびぼくは、ゆうすけ君の家へ
あそびにいきました。

すこしあそんだら こんどそとで
あそびました。

にわですこしあそんだら、にわの
はしに、

ありました、ありました、きいろい
たんぼぼが。

でも、ようくみて見ると、しろいろ
のたんぼぼが三〜五本ぐらいありまし
た。

わた毛が、できそうなのがいっぱい
ありました。

もし、ぼくがたんぼぼだったら、
たねをいっぱいいばして、
もっとぼくをつくりたいとぼくは思
った。

(原文のまま)



エルデーイ地方への旅

エルデーイ。トランシルヴァニア地方は、元々ハンガリー語でこう呼ばれる。世界大戦を経て、ルーマニア領となるまで千年以上ハンガリーの一部として豊かな歴史を歩んできた。近代化の急激な波を免れたため、古い伝統や習慣がよく残り、本国よりもハンガリーの要素を色濃く持っていると言われ興味深い。

チャウシェスク政権崩壊後、ここか



らも随分、旅行しやすくなった。いくつかのポイントを御案内しよう。いずれもハンガリー語がよく通じる。

ナジヴァーラド (オラデア)

国境のアルタンドから、十キロも行くと早くも街へ入る。カトリックの聖教区として栄え、パロック調の枢機卿宮殿が、旅行者を迎えるように、街の入り口に聳えている。詩人のアディがケレシユ湖畔のパリと詠んだ美しい町並みが今も残る。特に中心街の散歩道になっているあたりは、今世紀初頭に流行ったユーゲントスタイルの華麗な建築が並び、目を奪われる。

中心都市コロジユヴァールへ向かって山を越える。厳密に言うところの峠キラーイハーゴから東が、歴史的にエルデーイと呼ばれる地方である。

ここからコロジユヴァールにかけての1帯はカロタセグと言ひ刺繍と総ビーズの絢爛豪華な民族衣装が有名だ。村はプロテスタントの信者が多く、キリスト教のお祭りや、結婚式に、着飾

った出で立ちで揃う様は、目もくらむほどの眩しさ。(マジナルヴィシュタ村、メーラ村など)

コロジユヴァール (クルージュ)

エルデーイ地方の首都。かつて「寶石の街」と呼ばれた。街の真ん中の大広場にあるセント・ミハイイ教会(カトリック)は、ブダペストのマーチャーシュ教会に匹敵する壮大な規模のもの。傍らにはマーチャーシュ王の像が建っている。というのもこの王様の生誕地でもあるからだ。街の外側を取り巻いて、悪名高いアパート群が立ち並び、景観がかなり損なわれてしまったが、旧市街はセゲドやデブレツェンを彷彿とさせるハンガリーの特徴を見ることが出来る。

コロジユヴァール市から北へ、数十キロの寄り道をしてみる。民俗学的にも極めてユニークとされるセーク村。民族衣装は全体に黒を基調とし、膝下までの長いスカートは赤い花柄のものなどが特徴的だ。少し前まで民芸品や

衣装を、ブダベストのモスクワ広場やヴァーツィ通りに並んで売っていた人達といえは御記憶の方も多いだらう。彼等の大部分はこの村からはるばるやってきている。十六世紀、タタール人侵略の際六百人が虐殺されるといふ悲劇があり、その記憶を後へ残すため皆が黒い衣装を着る様になったそうだ。村独自の民謡や踊りも有名。

コロジュヴァールを抜けてさらに東へ歩を進めると、道がだんだん山がちになりカルパート山脈の一部へ入って行くのがわかる。

マロシユヴァーシャーレヘイ
(ティルグ・ムレシュ)

このあたりの人は、自分達のことをセーケイ人と呼んで、本国の同胞と若干区別している。彼等は紛れもなくハンガリー人なのだが、例えば日本でも江戸っ子と京都の人の氣質が違っていて、お互いに多少張り合っているような状況と似ている。今でこそルーマニア国籍だが、我こそ生粋のハンガリー

人ともいった気概を持つ誇り高き人だ。ハンガリー人が多数派を占めるセーケイ地方の中心都市が、マロシユヴァーシャーレヘイである。瀟洒な文化宮殿や市庁舎、古い教会、丘の上の城跡など見るべきものが多い。

ここから南東のブラッショー(ブラシヨフ)へと広がる地域に、森を縫って点在する村々は、何かおとぎ話の世界の様に可憐な美しさを持っている。セーケイ門と呼ばれる、アジアに起源を持つに違いない印象的な門構えの家が連なり、日本人の目にはどこかناقشしささえ呼び起こす。

さてエルデーイの南部は、アールパード王朝によって入植されたドイツ系の住民がかつて多く住み、都市や村の造りにその影響が見られる。ドラキュラ伝説で有名なナジセベン(シビウ)などはそのひとつだ。

ブダベストの英雄広場後方に、農業博物館として古城の模型が建っているのは御存じだらう。この城のオリジナ

ルが、やはりエルデーイの南部ヴァイダ・フニャド(フニャドアラ)に存在する。数々の伝説を残すハンガリーの名門、フニャディ家の由緒ある城で、当時の面影を偲ぶのも一興だらうか。

旅の最後に、現代史の名所に立ち寄ることにしよう。ハンガリーとの国境に程近いテメシユヴァール(ティミシヨアラ)。例のルーマニア革命勃発の街だ。御記憶にも新しいが、ハンガリー人・テーケーシユ牧師の弾圧を抗議することから始まったデモが、独裁者処刑まで事態を発展させるきっかけになった。今その発端になった教会の壁には革命の記念板が掲げられている。

ここに挙げた都市や村はエルデーイのほんの一部であるが、こうして旅していると、ハンガリーの人達が持っている、とても深い思い入れを少し理解できるような気がする。(裕)



ベビーの会・子供会紹介

ベビーの会

ベビーの会は、0〜3才の乳幼児とその保護者を対象にして、毎週水曜日の10時から12時まで活動しています。

最初は数名で始められたベビーの会も現在では20名近くになり、持ち回りで行うことが難しくなったため、話し合った結果、暖かい間は公園で行うことになりました(雨天の場合は連絡網を回します)。

子供が小さいとどうしても家に閉じこもりがちですが、週に一度青空の下でみなさんと会うことによって、子供は伸び伸びと遊び、母親も情報交換や育児相談の場に行うことができます。また、他国の方々との交流も行われているようです。

もしも近くで良い公園がありましたら、ベビーの会まで御連絡下さい。

子供会

1988年12月、幼児を持つ数人のお母さん達によって催されたクリスマス会を皮切りに、就学前の子供達と一緒に遊ばせる機会をつくりましょうという事で始まった子供会も3年余り経ち、最初は10人位だった乳幼児の数も増え、ベビーの会(0〜3才)と子供会(3才〜就学まで)に分けることになり、現在子供会会員は14人です。

去年までは各家庭持ち回りでしたのですが手狭になり、今年3月からはアールダーシュ・イシュコラの体育館をお借りし、遊ばせています。隔週金曜日、午後3時半から2時間思い切り走り回ったり、縄跳びやボールを使って遊んだり、子供達は大喜びです。

毎月お当番のお母さん2人を決め、そのお母さんが中心になって、工作をしたり、紙芝居を読んであげたり、みんなで遊べるように工夫しています。そしておやつタイムには、各自持参の

お弁当箱におやつを入れてもらい、広げたピクニックシートの上で、ピクニック気分でいただきます。東の間の静かな時間にお母さん達もホッと一息です。

日本から遠く離れたハンガリーでお友達と日本語でおしゃべりし、一緒に遊べるといったメリットは大きく、子供達以上に親の私達にも、育児の事、幼稚園の事、新しいお店のことetc情報交換の場所となり、いろいろとおしゃべりすることでストレス解消になっています。

今年は、去年実現出来なかったベビーの会との合同ピクニックを是非実現し、これから益々増えると思われる子供達の輪を広げていきたいと考えています。



留学生コーナー

お知らせ

この九月に去年に引き続き、日本人主催による『音楽留学生によるコンサート』を催すことになりました。つきましてはメンバーを募りたいと思いますが、今回は室内楽特集で行きたいと思ひます。もちろんデュオからオクテットまで(国籍は問わず)なんでもありますが、時間の都合により、4組程になりそうです。しかし、年内に9月を含め2回のコンサートを予定しておりますので、どうぞ皆様どしどし応募下さい。尚、応募方法はリスト音楽院に掲示いたします。

へお知らせ

ソフトボールの道具が揃いました。バット、ベース、ボールを日本大使館にて保管して頂いてますので大いに御利用下さい。御希望の方は領事部中山氏にお申し込み下さい。(日本人会)



掲示板



☆英語教えます

リスト音楽院在学中のマイケル君

(オーストラリア)が英会話の生徒を募集しております。御希望の方は左記まで御連絡下さい。

Michael Allport

1068 Kiraly ut 98/B fel13

☎1-427-643

☆日本直行チャーター便のお知らせ

MALLEVが来る7月より日本への直行チャーター便を計画しております。

御帰国等で日程が合えば格安料金も可能とのことです。詳細は左記へお問い合わせ下さい。

糸見 徳

☎167-1160

やぶにらみ歳時記②

ハンガリーの春は本当に素晴らしい。長く淋しい冬がある日突然の如く去って行き、木の芽が膨らみ、連ギョウの鮮やかな黄色が春を告げる。そして、杏、桜、リンゴ、梨、ライラック、スモモと淡い色の花々が柔らかに生の始まりを謳う。更に野にスミレ、タンポポ、菜の花と咲き乱れ、マロニエがスケールを競い、偽アカシアの白が緑に映え渡る。そして彩とりどりのバラの花が垣根に顔を出す頃、サクランポがたわなに色付き、春の幕を閉じる。短い文章ではとても表せない自然のページェント。ハンガリーに住む喜びをしみみと味わうのは筆者のみではあるまい。しかし今年は見事な春を見せて貰ったその一方では一昨年に続いての干ばつに心を痛める人々在り、減反政策にて農業不況を凌がんと苦肉の策に対し、余りにも厳しい仕打ち。6月8日のメダールドの雨を愛するハンガリーの為に祈りたいもの。(M英介)

日本人会より

日本人補習校理事会設立

この2-3年の生徒数の増加／社会の変化が、補習校として取り組まなければならぬ問題を多く生起させています。しかも、父兄・児童の要望が多様になっております。

この対策として、従来の運営委員会（委員5名）の上に、最高議決機関となる理事会（理事7名）を5月15日に設置しました。これに伴い運営委員会は日常の運営・事務に専念します。

理事

盛田 常夫（理事長）／野村総研

田中 恵子（書記）／大使館

清川 光雄／大和証券

佐藤 紀子／貿易大学

中山 昌秋／大使館

宮治 弘／住友商事

吉岡 直道／三井物産

運営委員

清川 光雄（委員長）

天野 明／トーマン

鈴木 孝史／三菱

佐藤 紀子

中山 昌秋

セキュリティ

自由化の促進／経済不況により、治安が悪くなりつつあります。トラブルに巻き込まれない為の、絶対策がないのが困りものです。防止策として、現状は、個々人の意識に訴えるしかありませんが、日常生活の中で「究極的には、自分が守らなければ」という意識で対応願いたく存じます。

常日頃、危険地帯（事故がよく発生しているターミナル）には近付かないあるいは長居をしないように。

万が一、トラブルが発生したり、巻き込まれた場合は、逸早く「日本大使館」（☎15614533／15614648）に御連絡下さい。

編集部便り

懐かしの日本はバブル経済崩壊の後遺症を引き摺りながらも、日本ダービーでは何と売り上げ四百七十億円とすざましい記録更新、一体日本はどうなっているのでしょうか。不況感の中で無名の小牧場育ちのミホノブルボンの快走に人々の夢を乗せるものがあるのでしょうか。

春季号の編集が事情により大変遅れてしまい早くも夏の声を聴く程になりましたことお詫び申し上げます。今回は紙面の都合上、「ハンガリー語へのお誘い」「ハンガリー料理シリーズ」等をお休み致しましたが、次号（夏季号）でもバラエティに富んだ記事・情報を期待しております。

ドナウ通信編集部連絡先

江原（日商岩井）

☎26614357